



しっしん・かゆみ・虫さされに **湿疹、皮膚炎治療薬**

販売名：リンデロンVsプレミアムクリーム

第2類医薬品

# リンデロン® Vs プレミアム クリーム



本剤は皮膚疾患治療薬ですので、化粧下、ひげそり後に使用しないでください。  
大量または長期にわたって使用すると、副作用として皮膚が薄くなったり、皮膚の血管が拡張したりすることがあります。顔面の皮膚は薄いので、特に注意してください。  
また、症状が改善した後は漫然と連用しないでください。



よくお読み  
ください

## ⚠ 使用上の注意



**してはいけないこと** (守らないと現在の症状が悪化したり、副作用がおこりやすくなります)

- 次の人は使用しないでください  
本剤または本剤の成分によりアレルギー症状をおこしたことがある人
- 次の部位には使用しないでください  
(1)水痘(水ぼうそう)、みずむし・たむしなどまたは化膿している患部  
(2)目、目の周囲
- 顔面には、広範囲に使用しないでください
- 長期連用しないでください



## 相談すること

- 次の人は使用前に医師、薬剤師または登録販売者にご相談ください  
(1)医師の治療を受けている人 (2)妊婦または妊娠していると思われる人 (3)薬などによりアレルギー症状をおこしたことがある人 (4)患部が広範囲の人 (5)湿潤やただれのひどい人
- 使用后、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに使用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師または登録販売者にご相談ください
- 5～6日間使用しても症状がよくならない場合は使用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師または登録販売者にご相談ください

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
皮膚(患部)	みずむし・たむしなどの白せん、にきび、化膿症状、持続的な刺激感、白くなる



## 効能・効果

しっしん、皮膚炎、虫さされ、あせも、かぶれ、かゆみ、しもやけ、じんましん



## 成分・分量

リンデロンVsプレミアムクリームは白色のクリームで1g中に次の成分を含有しています。

成分	分量(1g中)	はたらき
ベタメタゾン吉草酸エステル	1.2mg	副腎皮質ホルモンの一つで、炎症をおさえ、かゆみをしずめる
アラントイン	2mg	傷んだ皮膚組織の修復を助ける
トコフェロール酢酸エステル	10mg	血流をよくするほか、炎症の拡大を防ぐ
イソプロピルメチルフェノール	1mg	皮膚への殺菌作用により、感染による悪化を防ぐ

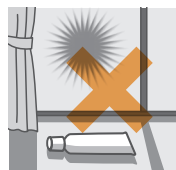
添加物として

流動パラフィン、セトステアリルアルコール、トリイソオクタン酸グリセリン、白色ワセリン、ミリスチン酸イソプロピル、ポリオキシエチレンベヘニルエーテル、ジメチルポリシロキサン、モノステアリン酸グリセリン、パラオキシ安息香酸ブチル、パラオキシ安息香酸メチル、クエン酸水和物、クエン酸ナトリウム水和物を含有しています。



## 保管および取り扱い上の注意

- 直射日光の当たらない湿気の少ない、涼しい所に密栓して保管してください。
- 小児の手の届かない所に保管してください。
- 他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり、品質が変化します)
- 使用期限をすぎた製品は、使用しないでください。



## お問い合わせ先

本品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店、または下記までお願いいたします。  
●シオノギヘルスケア株式会社「医薬情報センター」  
電話：大阪 06-6209-6948、東京 03-3406-8450  
受付時間：9時～17時(土、日、祝日を除く)

「副作用被害救済制度」について  
●(独)医薬品医療機器総合機構  
<https://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.camp/index.html>  
電話：0120-149-931(フリーダイヤル)

製造販売元

シオノギヘルスケア株式会社

大阪市中央区北浜2丁目6番18号

®登録商標

## 湿疹、皮膚炎などの皮膚トラブルに有効なステロイド成分に、痕残りを防ぐ有効成分を配合した新タイプの塗り薬です。

皮膚炎、湿疹、かぶれやそれらに伴うかゆみ等の皮膚トラブルは、皮膚の炎症により生じます。かゆみを伴う不快な症状が長引くと、皮膚をかき続けてしまい、症状悪化やキズを残すおそれが生じます。皮膚トラブルの治療は、炎症を早期に抑えて症状を速やかに改善することがポイント。そのためには、ステロイド外用剤を正しく使うことが大切です。リンデロンVsプレミアムは、ステロイド成分に、痕残りを防ぐ3つの有効成分を配合しました。

※ステロイドは人の体内で生成される物質で、強力な抗炎症作用を有します。  
ステロイドを化学的に合成したステロイド外用剤は、局所の炎症を鎮めるお薬です。

## 日常の皮膚トラブルやさまざまな皮膚炎に、効果を発揮します。



※患部が化膿してジュクジュクになっている場合は、使用しないでください。

## ストロングステロイドに3つの有効成分をプラス

### 3つの有効成分

**皮膚修復**

- アラントイン
- トコフェロール酢酸エステル

**殺菌**

- イソプロピルメチルフェノール

**炎症の抑制**

- ベタメタゾン吉草酸エステル (ステロイド薬)

## 化膿を伴う皮膚症状への使用について

皮膚炎をおこすと、激しいかゆみがおこることも多く、かき続けると、皮膚を感染などから守るバリア機能が弱まり、皮膚から細菌などが入り込みやすくなるため感染して患部が化膿することもあります。本剤は皮膚炎、かゆみなどの症状を改善するお薬です。化膿がある患部には使用しないでください。

患部の状態	化膿(感染)がない皮膚炎	化膿(感染)がある皮膚炎
本剤	○	×

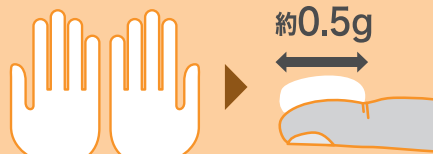
## 塗り方のポイント

### 塗る量の目安

手のひら2枚分の広さに塗ることができる量は、大人の人差し指の先から第一関節までお薬のをせた量(約0.5g)が目安です。

※患部の面積に応じて量を調整ください。

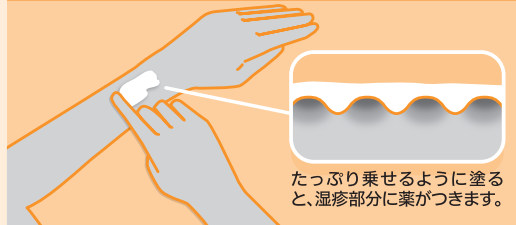
例



### やさしく塗る

患部にお薬を乗せ、擦り込まずに患部全体にやさしく伸ばします。表面がベタつくくらいが基本です。

擦り込まないようにしましょう。



たっぷり乗せるように塗ると、湿疹部分に薬がつかます。

5~6日間使用しても症状がよくなりえない場合や悪化した場合は、薬の使用を止め医師、薬剤師、登録販売者に相談しましょう。

## 副作用について

ステロイド外用剤は使用期間や塗布量など適正に使用いただいた場合は副作用の現れる頻度は高くありません。長期連用した場合は、皮膚が白くなったり、薄くなる場合があります。また水虫などの感染をおこしている部位に使うと症状が悪化することがあります。



目に入れないでください。

※目の周囲に長期に使用することで、眼圧が上がる場合がありますので、使用は止めてください。

## 皮膚トラブルを悪化させない日常生活での心がけ

- ☑体が温まるとかゆくなるため、入浴はぬるめの湯で短時間ですませましょう。
- ☑体は、やわらかいタオルや手でやさしく洗うようにしましょう。
- ☑肌に直接触れる衣類や寝具は、ウールや化繊などのチクチクするものは避けましょう。
- ☑食事は、アルコールや香辛料などの刺激物は避けましょう。

